

# アーティスト・イン・レジデンス展

瀬戸市では、2000年から国内外の優れた陶芸家とガラス作家を招聘する“アーティスト・イン・レジデンス”（芸術家の滞在制作）プログラムを実施しています。

瀬戸には長い窯業の歴史があり、またガラスの原料（珪砂）の産地でもあります。そこに世界で活躍する作家が加わることで、市民や瀬戸市内外で活動する作家等との交流を深め、陶芸・ガラス工芸の新たな展開が生まれ、そして芸術的感性と国際感覚豊かな地域づくりを目指しています。

招聘作家は約1か月にわたって瀬戸市に滞在し新世紀工芸館で制作を行います。当館ではこれまで26か国総勢74名の作家を受け入れ、多種多様な表現から多くの作品が生まれました。

本展では、招聘作家より瀬戸市に寄贈された作品の中から、16名の作家が制作した合計30点の陶芸・ガラス工芸作品をご紹介します。

竹内 真吾 / Shingo Takeuchi (日本)  
 ブラッド・シュヴィガー / Brad Schwieger (アメリカ)  
 クリスティヌ・スパール / Christine Spahr (フランス)  
 マウリシド・マセド / Mauricio Macedo (メキシコ)  
 キリル・コピルコフ / Kirill Kopylkov (ロシア)  
 ブライアン・ベンファー / Brian Benfer (アメリカ)  
 耿 雪 / Geng Xue (中国)  
 福西 毅 / Takeshi Fukunishi (日本)

ノエル・エル・ファロル / Noëll EL Farol (フィリピン)  
 岸 映子 / Eiko Kishi (日本)  
 申 哲淳 / Shin Cheod Soon (韓国)  
 ウィム・カウス / Wim Caus (オランダ)  
 デイヴィッド・パッチェン / David Patchen (アメリカ)  
 マーレ・サーレ / Mare Saare (エストニア)  
 扇田 克也 / Katsuya Ohgita (日本)  
 杜 蒙 / Meng Du (中国)

(滞在制作年順)

## □当館交流棟のご案内

「新生活を楽しむ陶とガラスー 同時開催 端午の節句展」  
2023年4月1日(土)～5月28日(日)

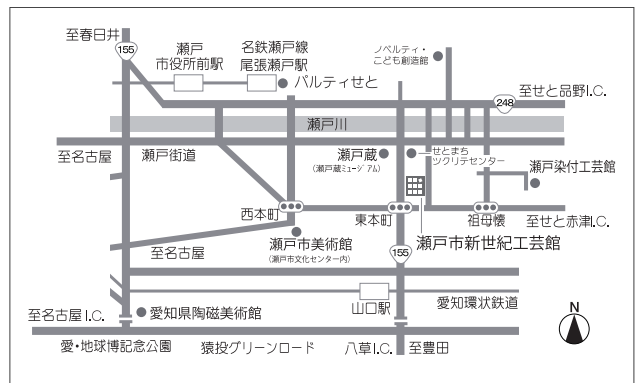
## □近隣施設のご案内

愛知県陶磁美術館  
 「特別展 / 日本工芸会陶芸部会 50周年記念展  
 未来へつなぐ陶芸ー伝統工芸のチカラ」  
 2023年4月15日(土)～6月18日(日)

瀬戸市美術館  
 「せとものフェスタ2023 特別展 収集された海外の陶磁器ー  
 国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター収蔵品を中心にー」  
 「せとものフェスタ2023 特別展 第4回瀬戸・藤四郎  
 トリエンナーレグランプリ受賞者展 赤平史香展」  
 2023年4月15日(土)～5月28日(日)

瀬戸蔵ミュージアム  
 「埋蔵文化財センター企画展 新出土品展」  
 2023年5月27日(土)～8月20日(日)

瀬戸染付工芸館  
 「企画展 瀬戸染付花物語ー花恋ー KAREN」  
 2023年4月1日(土)～6月25日(日)



- JR名古屋駅から地下鉄東山線で「栄」へ。名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「尾張瀬戸」へ。「尾張瀬戸」から南東へ徒歩7分。(所要時間約1時間)
- 東名高速道路「名古屋 I.C.」「長久手 I.C.」を降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」、または「八草 I.C.」まで行き左折(北)し、瀬戸市街地へ。(所要時間約30分)
- 東海環状自動車道「せと赤津 I.C.」を降りて瀬戸方面へ。(所要時間約10分)

## ◀ご来館の皆様へ▶

- 発熱など体調不良の方は、ご来館をお控えください。
  - マスク着用をはじめとした咳エチケットの取行をお願いいたします。
  - 団体でのご利用は事前に当館までご相談ください。
  - 展示室ではソーシャルディスタンスに気をつけ、他の方との距離を2m以上あけてご覧ください。
- 皆様のご来館をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

**瀬戸市新世紀工芸館**  
 Seto Ceramics and Glass Art Center

〒489-0815 愛知県瀬戸市南仲之切町 81-2  
 TEL : 0561-97-1001 FAX : 0561-97-1005  
 E-mail : sinseiki@gctv.ne.jp



いしもん  
せともの



日本遺産のまち  
瀬戸市